

PILLARの強みと源泉

当社グループは、「情報ネットワークの構築」「さまざまな材料を製品に展開できる技術」「愚直な技術開発」を100年の歴史の中で広く、深く培ってきました。そして、これらを複合的に組み合わせることで、当社にしかできない技術・製品・サービスをお客様のニーズに合わせて提供しています。

PILLARのビジネスモデル

当社グループは、100年の歴史において「漏れを制御する技術」を核にした「流体制御関連製品」で各時代のニーズに応え続けることで、船舶・プラント(工場)・自動車・半導体と市場を広げてきました。また、その過程においてグランドパッキン・ガスケット・メカニカルシール・ふっ素樹脂製品と製品のラインナップも拡充してきました。

現在は、「電子機器関連事業」と「産業機器関連事業」のセグメント分類のもとで幅広い市場に製品やサービスを提供しています。



PILLARのビジネスモデルの礎となる「強み」

100年磨いた素材開発力

シール開発の歴史は素材研究の歴史といっても過言ではありません。当社製品は、ポンプ・バルブ・配管などの幅広い用途において、温度・圧力・周速・耐薬品性などが異なる条件で使用されるため、SiC(シリコンカーバイド)・膨張黒鉛・ふっ素樹脂などのさまざまな材料を研究して製品に採用しています。

今後は、EV・水素・次世代通信などの新たな市場に展開していきます。

素材×技術力×豊富な流体ソリューション

当社グループが有しているノウハウを複合的に組み合わせることで、当社にしかできない技術・製品・サービスをお客様のニーズに合わせて提供します。

例えば、ふっ素樹脂製品においては、切削加工が一般的とされていた形状を射出成形化することで、リードタイム短縮や生産量向上を実現しました。また、産業機器用のシールにおいては、総合シールメーカーならではの技術の蓄積を活かした提案でお客様のニーズに的確にお応えします。

PILLARの競争優位の源泉(6つの資本)

当社グループが持つ多様な資源を6つの資本に分類しました。それぞれを事業活動に活用することで、さらなる事業の拡大や新たな価値創造へとつなげていきます。

(2023年度実績)

	関連する資源	優位性
財務資本	<ul style="list-style-type: none"> 健全な財務体質 営業利益率の確保 新たなキャッシュの創出 積極的な株主還元 	<ul style="list-style-type: none"> 純資産 699億円 自己資本比率 70.8% 営業利益率 24.2% 配当性向 34.4%
製造資本	<ul style="list-style-type: none"> グループ内生産一貫体制の構築 海外現地生産体制の整備 自動化・IoT化推進による生産性の向上 高水準のクリーンルーム設置 安全・環境に配慮した工場 	<ul style="list-style-type: none"> 国内生産拠点 12拠点 海外生産拠点 5拠点 設備投資額 151億円
知的資本	<ul style="list-style-type: none"> 高度な流体制御技術 100年の歴史の中で培ったノウハウ 最先端のニーズに応える技術力 未知なる素材の開発力 	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発費 14億円 組織横断的な製品開発力を強化する三田工場イノベーションセンターの設置
人的資本	<ul style="list-style-type: none"> グローバル基準で物事を捉えることができる人財 高いリーダーシップ・決断力・実行力を発揮できる人財 多様な経験・知見を持つ人財が活躍できる職場環境 安心して健やかに働くことができる職場環境 	<ul style="list-style-type: none"> 連結従業員数 1,132名 1人当たり人財育成投資額 71千円 グローバル人材数* 73人
社会・関係資本	<ul style="list-style-type: none"> 多様な分野のお客様接点 安定供給を実現する仕入先 産官学連携の推進 地域社会への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 営業拠点 39拠点 サプライヤー数 652社 個別IR対応件数 208件
自然資本	<ul style="list-style-type: none"> 自然エネルギー利用促進 環境負荷低減を実現する製品 気候変動をはじめとした地球環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量(Scope1+2) 14,861t-CO₂ CO₂排出量(Scope3) 149,077t-CO₂ 太陽光発電所発電量(売電) 835,986kWh

*グローバル人材数=海外拠点でのマネジメント経験者数(人事ローテーションを主とした海外拠点経験者数+ナショナルスタッフからのマネジメント層への登用者数)